

特別支援教育論（障がい児保育含む）

授業科目	特別支援教育論（障がい児保育含む）				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	金田 孝一										
授業概要	<p>幼稚園や保育所等には、様々な障害等により特別の支援を必要とする子どもがいる。そこでこの授業では、特別支援教育の視点から、そうした子どもの理解と支援について学ぶ。</p> <p>最初に、特別支援教育の理念や障害の考え方などについて概観する。次に、様々な障害等により特別の支援を必要とする子どもについて、その障害の状態や特性等を理解し、適切な支援方法を見出せるように学習を進める。最後に、関係機関等とも連携するなど、特別の支援を組織的・継続的に行うために必要な知識を扱う。</p> <p>なお授業にあたっては、実務家教員として、学校における様々な立場（教諭、指導教諭、教頭、校長）からの教育実践経験、特に多様な学びの場（通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校）における各障害（聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、発達障害）等への指導経験を生かし、実際的な事例を示しつつ学習を進める。さらに行政経験（教育委員会指導主事、特別支援教育課長）を生かし、特別支援教育に関する制度の理念や仕組みについて具体的に学習を進める。</p>										
授業形態	講義	授業方法	グループワーク、ディスカッション								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援教育の理念や障害の考え方などを理解し説明できる。また、特別の支援を組織的・継続的に行う仕組みなどを理解し説明できる。（DP1-2） ○ 特別の支援を必要とする子どもについて、障害等の状態や特性等を理解し、適切な支援方法を見出すことができる。（DP2-1） ○ 保育者としての見方・考え方を広げ、自らの生き方を意識することができる。（DP4-1） 										
理想的レベル	○ 標準レベルの内容に関して、「人格形成の基礎」「共生社会の形成の基礎」「多様性の尊重」「環境因子（ICF）」などの視点から、考えを深めることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験											
小テスト	40%										
レポート	10%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物	50%				予習課題、ワーク等						
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	CH21315J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
予習：テキストで授業内容の指定部分を読む。テキストの指定部分を参考に予習課題を行う。指示されたテーマのレポートを作成する。										1	

復習：テキストで授業内容を復習する。課題「学習内容の確認」をする。

授業計画

第1回	<p>授業のオリエンテーション</p> <p>テーマ：特別支援教育の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の理念 ・特殊教育から特別支援教育への転換 ・幼稚園教育要領と特別支援教育 ・保育所保育指針と障がい児保育 ・インクルーシブ教育システム
第2回	<p>テーマ：障害の考え方と合理的配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の権利に関する条約 ・障害者差別解消法 ・幼稚園等における合理的配慮 ・障害の理解と考え方
第3回	<p>テーマ：特別の支援を必要とする子ども1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害の理解 ・障害の状態や特性とその支援 ・幼稚園や保育所等での具体的な配慮
第4回	<p>テーマ：特別の支援を必要とする子ども2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害の理解 ・障害の状態や特性とその支援 ・幼稚園や保育所等での具体的な配慮
第5回	<p>テーマ：特別の支援を必要とする子ども3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的障害の理解 ・障害の状態や特性とその支援 ・幼稚園や保育所等での具体的な配慮
第6回	<p>テーマ：特別の支援を必要とする子ども4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由の理解 ・障害の状態や特性とその支援 ・幼稚園や保育所等での具体的な配慮
第7回	<p>テーマ：特別の支援を必要とする子ども5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病弱・身体虚弱（医療的ケアを含む）の理解 ・障害の状態や特性とその支援

	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育所等での具体的な配慮
第 8 回	<p>テーマ：特別の支援を必要とする子ども 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の理解 ・自閉症の状態や特性とその支援 ・幼稚園や保育所等での具体的な配慮
第 9 回	<p>テーマ：特別の支援を必要とする子ども 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ADHD（注意欠陥多動性障害）の状態や特性とその支援 ・幼稚園や保育所等での具体的な配慮
第 10 回	<p>テーマ：特別の支援を必要とする子ども 8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語障害や情緒障害等の理解 ・言語障害や情緒障害等の状態や特性とその支援 ・幼稚園や保育所等での具体的な配慮
第 11 回	<p>テーマ：特別な教育的ニーズのある子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母国語や貧困等の問題の理解とその支援 <p>特別の支援を必要とする子ども（1～8）のまとめ</p>
第 12 回	<p>テーマ：組織的な支援体制と支援の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の体制（園内体制） ・園内委員会と特別支援教育コーディネーター ・個別の教育支援計画と個別の指導計画
第 13 回	<p>テーマ：関係機関や保護者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の体制（連携体制） ・特別支援学校のセンター的機能 ・専門相談機関（教育関係、医療・福祉等） ・保護者との連携
第 14 回	<p>テーマ：小学校等における特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びの場の考え方と概要 ・特別支援学校（小学部） ・小学校（通常の学級、通級による指導、特別支援学級） ・多様な学びの場における教育課程
第 15 回	<p>テーマ：小学校等への支援の継続と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校等への入学まで ・就学時健康診断、就学相談

	<p>・保幼小の連携</p> <p>授業のまとめ - 教育の課題と特別支援教育 -</p>
テキスト	『特別支援 教育・保育概論 ―特別な配慮を要する子どもの理解と支援』 尾野明美 他 萌文書林 2019年（改訂新版） 2,000円
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省 『幼稚園教育要領解説』 平成30年3月 フレーベル館〈P124-130 など〉 ・厚生労働省 『保育所保育指針解説』 平成30年3月 フレーベル館〈P48-50 など〉 ・文部科学省初等中等教育局特別支援教育課「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」 令和3年6月〈文部科学省ホームページ参照〉 ・北九州市教育委員会「障害を理由とする差別の解消の推進に関する北九州市立学校・園教職員向けガイドライン」 平成28年3月〈北九州市ホームページ参照〉〈同様のガイドラインは、他の地方自治体にもあります〉
課題に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストは、採点后返却する。また、解答例を示して解説する。 ・レポートは、授業中にコメントする。また、内容を評価しコメントを付けて返却する。 ・レポート外の提出物（予習課題、ワーク等）は、内容を評価し返却する。
学生へのメッセージ・コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容は、これまでの自分の経験と重ね合わせて理解します。 ・授業の内容は、これからの自分の生き方を意識し、自分のものにします。